



令和4年12月15日  
水管理・国土保全局  
水資源部水資源政策課

## 「水の里の旅コンテスト 2022」受賞企画決定！

国土交通省では「水の里の旅コンテスト 2022」において、水の里を観光資源とした「旅の企画」を募集し、今般、全国から応募のあった中から最優秀賞をはじめとする8つの受賞企画を決定しました。

受賞者への表彰式を12月20日（火）に開催し、最優秀賞受賞者による「旅の企画」のプレゼンテーションも行われる予定です。

国土交通省では、水の里の観光資源を活用した「旅の企画」の表彰を通じて、水の里の大切さと魅力を伝え、地域の活性化を推進することを目的に、平成22年度から「水の里の旅コンテスト」を実施しております。

今年度のコンテストにおいて、「一般部門」では、自然や歴史、温泉、美味しいものがぎゅっと詰まった下諏訪町<sup>しもすわまち</sup>を“水の恩恵”を体感しながら巡るツアーを企画した一般社団法人下諏訪町地域開発公社観光振興局が最優秀賞を受賞しました。

また、「学生部門」では、斐伊川<sup>ひいかわ</sup>の源流をなす清流や、豊かで多様な自然環境と景観、産業、歴史、文化に彩られた『承継の里』で、先人の知恵と工夫と苦勞に思いを馳せながら“暮らす旅”を体感できるツアーを企画した比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科観光振興ゼミ3年<sup>ひじやま</sup>が最優秀賞を受賞しました。

その他の受賞企画については、別紙に記載がございますのでご覧ください。

※受賞企画の詳細内容はウェブページ（<http://mizunosato-ouen.jp/tabii/awarded/>）に掲載します。



【一般部門最優秀賞／特別賞「絶景賞」】  
一般社団法人下諏訪町地域開発公社観光振興局



【学生部門最優秀賞／特別賞「観光庁観光資源課長賞」】  
比治山大学現代文化学部  
マスコミュニケーション学科観光振興ゼミ3年

### 【表彰式の概要】

- 日時：令和4年12月20日（火）13:00～14:00
- 会場：中央合同庁舎第3号館8階特別会議室（千代田区霞が関2-1-3）
- 主な内容：講評、賞状授与、最優秀賞受賞者による「旅の企画」のプレゼンテーション
- 取材は、会場でのカメラ撮り及び傍聴が可能です。

取材をご希望の方は、メール件名を「【取材】水の里の旅コンテスト 2022 表彰式」とし、本文に「氏名（ふりがな）、所属名、電話番号、電子メールアドレス」をご記入の上、12月19日（月）12時までに下記メールアドレス宛てにお申し込みください。

送付先：[hqt-suigenchiiki.shinko@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-suigenchiiki.shinko@gxb.mlit.go.jp) ※「★」を「@」に置き換えてください。

- 新型コロナウイルスの感染状況等により、予定を変更する場合があります。その際は、改めてお知らせします。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 川上（かわかみ）、田中（たなか）  
代表：03-5253-8111（内線 31323、31325） 直通：03-5253-8392 FAX：03-5253-1581

## 【水の里の旅コンテスト 2022 受賞企画】

賞		受賞者	旅行地域
一般部門	最優秀賞	一般社団法人下諏訪町地域開発公社 観光振興局	長野県
	優秀賞	一般社団法人埼玉県物産観光協会	埼玉県
	奨励賞	NPO 法人土湯温泉観光協会	福島県
学生部門	最優秀賞	比治山大学現代文化学部 マスコミュニケーション学科観光振興ゼミ3年	島根県
	優秀賞	山形県立村山産業高等学校ビジネス部	山形県
	奨励賞	玉川大学小林セミナー	和歌山県
特別賞「絶景賞」		一般社団法人下諏訪町地域開発公社 観光振興局	長野県
特別賞「観光庁観光資源課長賞」		比治山大学現代文化学部 マスコミュニケーション学科観光振興ゼミ3年	島根県
特別賞「インバウンド賞」		一般社団法人美しい伊豆創造センター	静岡県
特別賞「プロモーション賞」		ジョワTV	石川県

## 【一般部門】

## 一般部門 最優秀賞 / 特別賞「絶景賞」

## 一般社団法人下諏訪町地域開発公社 観光振興局

『水の流れから悠久の歴史を辿る しもすわ分水嶺紀行』  
 <長野県（下諏訪町）>

自然や歴史、温泉、美味しいものがぎゅっと詰まった下諏訪町を、“水の恩恵”を体感しながら巡るツアーです。



## （【一般部門】講評）

下諏訪町の魅力を“水の流れ”に注目して巡るツアーになっており、この地域の歴史や文化が水の恩恵を受けて成り立っていることが伝わる内容となっているところが秀逸です。

分水嶺というキーワードから諏訪の歴史・文化を学びつつ、個人では見学が難しい遺跡も観光で見る、水の里の旅という観点からも旅行業という観点からも魅力が詰まっています。

また、各所でガイドがしっかりとついて、地元だから把握している話ができることと、地元の思いが上手に盛り込まれているところも良いと感じました。地域の多くの方を巻き込んだツアーなので、地域連携のためにも継続してほしいと思います。

## （【特別賞「絶景賞」】講評）

「水めぐみ」も「絶景」も、ただ鑑賞するだけではなく「ストーリー性」が大切です。

このツアーは全体の繋がりを解説できるコーディネーターがついているため、参加者がより深く水について理解できる仕組みがあります。霧ヶ峰や諏訪湖など多くのスポットが候補になっていますが、催行時期ごとにツアーを分類し、それぞれの絶景にあわせたスケジュールに調整することで、絶景が見られる可能性が高い行程になるとより良くなると感じました。

## 一般部門 優秀賞

### 一般社団法人埼玉県物産観光協会

『春日部<sup>かすかべ</sup>で夏休み 発見！体験！川の国ツアー』  
＜埼玉県（春日部市）＞

防災地下神殿「首都圏<sup>がいかく</sup>外郭放水路」や江戸時代から15代続く稲作農家でのおにぎり作り体験、宿場町「粕壁<sup>かすかべじゆく</sup>宿」の面影を辿る歴史散策など、“春日部と川とのかかわりを知る”をテーマにした周遊ツアーです。



（講評）

水の里という印象があまりない春日部において、古くから水とのかかわりの中で発展してきたということを学習できる魅力的なツアーとなっています。

水と深くかかわりのある防災施設、食や街並みを見学できるためバランスがよく、首都圏の人が一日楽しむのにちょうどよい行程の組み方となっており、無理なく参加できそうなところがよいと思います。事業実施主体を地元で育てることで、持続的な企画にしてほしいと思います。

## 一般部門 奨励賞

### NPO 法人土湯温泉観光協会

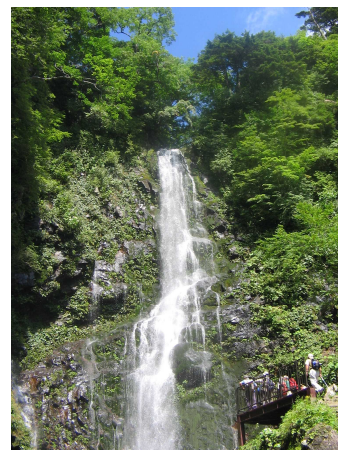
『秘湯「幕川」への旅  
～水質日本一「荒川」の源流「幕滝」<sup>まくたき</sup>と秘湯温泉を楽しむ～』  
＜福島県（福島市）＞

秘湯「幕川温泉」に宿泊し、ガイド付で「幕滝」へのトレッキングを楽しむアドベンチャーツアーです。

（講評）

水資源を学ぶ機会と伝統工芸に触れる機会も盛り込まれており、現在の町を支えるサステナブルな産業を生み出した過程が理解できる内容となっています。

また、温泉が楽しめて、ガイド付での幕滝へのトレッキングは温泉好きやトレッキングファンには魅力的に映ると思います。地元のガイドがいることで、地域の自然がとても良い観光資源になります。実際に催行し続けることを期待しています。



## 【学生部門】

### 学生部門 最優秀賞／特別賞「観光庁観光資源課長賞」

比治山大学現代文化学部

マスコミュニケーション学科観光振興ゼミ 3年

『ヒトとトキを継ぐ水源地ツアー

～知恵を偲ばせる「奥出雲流暮らし」体験～』

＜島根県（奥出雲町、雲南市）＞

ひいかわ

斐伊川の源流をなす清流や、豊かで多様な自然環境と景観、産業、歴史、文化に彩られた『承継の里』で、先人の知恵と工夫と苦労に思いを馳せながら“暮らす旅”を体感できるツアーです。



（【学生部門】講評）

地域を良く調べて、ひとつのストーリーにまとめ上げているとても良くできたプランです。特に、地域が持つ雰囲気や、地域の方々の思いに寄り添って企画されている点が素晴らしいと思います。

地域の観光資源をしっかりと押さえつつも、観光スポットを単に巡るだけではなく当該地域が水とともに歩んできた歴史を踏まえたストーリー性が感じられる行程になっているところが魅力的です。また、随所でガイドからの説明を受けたり、地元関係者と触れ合えたりする機会が設けられており、参加者にもテーマ性が伝わりやすいように工夫されているように感じました。

催行の予定がないと書かれていますが、大学で仲間や参加者を募集してぜひ実施していただきたいです。実際にツアーをやることで見えてくるものがあると思います。

（【特別賞「観光庁観光資源課長賞」】講評）

奥出雲の斐伊川水系におけるヤマタノオロチ伝説、たたら製鉄の歴史など、日本人でもなかなか深く知る機会がないような地域の自然、歴史、文化のトピックを広く取り上げ、関係性を繋げて企画しているところが素晴らしいと思います。地域ならではの生活や地元の方との交流を身近に感じられる農泊も取り入れるなど工夫を凝らしたプランです。

外国人留学生と日本人大学生を組み合わせターゲット設定は、日本人学生との交流機会のほか、日本人学生に対して自国の文化の再発見を促すことも期待でき、ひいてはインバウンドの誘致にも繋がる観点で評価できます。



## 学生部門 優秀賞

### 山形県立村山産業高等学校ビジネス部

#### 『山形の川と里で水の恵み出会う旅』

ふるさと山形を雄大に流れる<sup>もがみがわ</sup>最上川・<sup>さがえがわ</sup>寒河江川の恵み  
について知る・観る・学び体験する』  
＜山形県（村山地域）＞



酒蔵の見学や「天然じゅんさい」の摘み取り、<sup>さがえ</sup>寒河江ダムの見学など山形の水資源を観光資源として、五感で体験できるツアーです。

（講評）

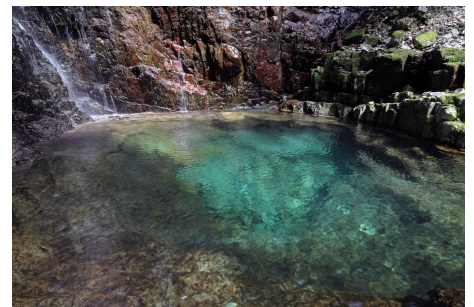
地域のことを良く勉強して練り上げた素晴らしいプランです。地域の多様な食を通じて、水の大切さを知るといふ企画の趣旨も良く、何よりも高校生から深い地域愛が感じられることにうれしさを感じます。

1日目に「水を活用した産業の体験」、2日目に「水を観光資源として活用する取組を体験」と違うコンセプトで構成されており、多面的に地域を知ることができるような工夫がみられるところが良いと思います。また、生徒が中心になってガイド役を実施することは心強いと感じました。

## 学生部門 奨励賞

### 玉川大学小林セミナー

『<sup>こざかわ</sup>古座川の魅力と共にはじまるご縁旅、  
人からはじまる人生旅～故郷探しは古座川へ～』  
＜和歌山県（古座川町）＞



古座川町でゆっくりと流れる時間の中で、地域の魅力的なスポットを巡りつつ、人の心の温かさに触れ、癒しを求めて何度でも訪れたい旅です。

（講評）

地元の方々の思いを感じ取って“人”を前面に出したツアーづくりに好感が持てます。古座川の魅力が人にあることが伝わってきて、単に観光スポットを巡るだけではなく地域のファンとして継続的な関係性を築くことを意識しているところが良いと思います。

古座川町は町名に川名がはいるほどに川や水に関係が深い暮らしがあるので、もう一步突っ込んで、川、水、古座川の水の暮らしを聞く時間や一緒に何かをする時間などを設定すればより良い企画になると感じました。

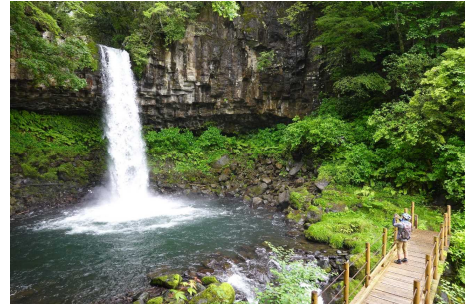
## 【特別賞】

### 特別賞「インバウンド賞」

一般社団法人美しい伊豆創造センター

『伊豆の秘境わさび田<sup>だ</sup>E-BIKE ツアー  
ユネスコ世界ジオパークと世界農業遺産を巡り味わう！』  
＜静岡県（伊豆市）＞

里山の原風景が広がる伊豆半島で、豊かな湧水と大地がもたらす大自然の恵み『わさび』を余すことなく楽しむガストロノミーツアーです。



(講評)

ツアーの最初に水の神様を祀る神社を訪問し、この地域の古くからの水との関わりを知ってもらうことから始まる点が評価できます。

Wasabi として海外でも知られる中、日本でどのように栽培されどのように加工されているかについて、関心を持つ外国人は多いのではないのでしょうか。英語対応可能なガイドの手配が可能な点もインバウンド需要に応えることになっています。

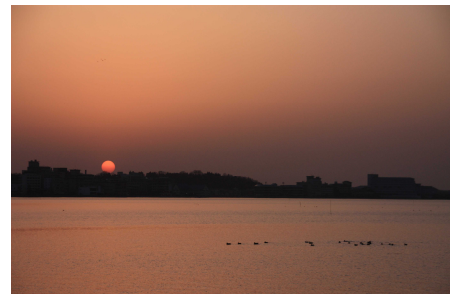
また、E-BIKE で巡ることで豊かな水源が育んだ地域を参加者が感じるができると思います。

### 特別賞「プロモーション賞」

ジョワTV

『日本潟湖（ラグーン）紀行 <sup>しばやまがた</sup> 柴山潟 <sup>かたやまづ</sup> と片山津温泉の旅』  
＜石川県（加賀市）＞

片山津温泉の目前に広がる潟湖干潟「柴山潟」とその周辺に広がる温泉街を巡り、潟湖を身近に感じ『水の都』を体感する旅です。



プロモーション動画は、  
QRコードからご覧になれます。  
(YouTubeリンク)



(講評)

旅行企画の提案に沿った動画となっており、旅行のハイライトとなりうる場面の説明もついていて、旅行のイメージがしやすい綺麗な映像になっているところが好印象です。

潟湖をメインテーマとした旅行企画であるので、映像を通じて潟湖の魅力についてさらに盛り込めばより魅力的になると思います。

## 「水の里の旅コンテスト 2022」審査委員

### 一般部門、学生部門の審査

- 阿部 沙織 株式会社全旅 営業推進本部旅行・営業部 IT 事業推進室係長
- ◎ 安藤 周治 特定非営利活動法人ひろしまね理事長
- 大澤 健 国立大学法人和歌山大学経済学部教授
- 季武 千早 一般社団法人全国旅行業協会 経営調査部主任
- 杉野 正弘 公益社団法人日本観光振興協会  
交流促進部門審議役 兼 調査研究部門国際業務部長
- 中川 雅章 国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課長

### 特別賞「絶景賞」の審査

- 詩歩 株式会社 Casket 代表取締役  
「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー

### 特別賞「観光庁観光資源課長賞」の審査

- 富田 建蔵 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長

### 特別賞「インバウンド賞」の審査

- 岡山 宏二 日本政府観光局 (JNTO) 地域連携部 地域連携担当部長

### 特別賞「プロモーション賞」の審査

- 阿部 沙織 株式会社全旅 営業推進本部旅行・営業部 IT 事業推進室係長
- ◎ 安藤 周治 特定非営利活動法人ひろしまね理事長
- 大澤 健 国立大学法人和歌山大学経済学部教授
- 季武 千早 一般社団法人全国旅行業協会 経営調査部主任
- 杉野 正弘 公益社団法人日本観光振興協会  
交流促進部門審議役 兼 調査研究部門国際業務部長
- 中川 雅章 国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課長

◎：委員長

(敬称略)